



咸宜園教育の理念を生かした学校教育



○咸宜園教育の理念とは

【咸宜】

塾名の由来である「咸宜」とは、「咸く宜し」（すべてのことがよろしい）という意味で、淡窓先生は入門時に学歴・年齢・身分を問わない「三奪法」により、すべての門下生を平等に教育しました。

また、一人ひとりの学力を客観的に判断する「月旦評」により、個に応じたきめ細かな指導で、門下生の学力を向上させました。

【敬天】

「敬天」とは、天を恐れ敬うという淡窓先生独自の思想で、正しいことをすれば天に報われるという考えです。

淡窓先生はその実践として、一万の善を積むことを目標に「万善簿」に自分の日常の行動を善行と悪行に分けて記録しました。

【治めて後、学ばせる】

淡窓先生は、学力を高めるには、人間性や社会性を高めることが必須と考え、塾生には塾のきまりである「規約」「塾約」により、生活を律することを求めました。

また、塾生全員で職務を分担する「職任」により、共同生活の秩序を保ち、学問に集中できる環境を整えました。

★日田市の小中学校では、咸宜園教育の理念を生かし、各学校が創意工夫して特色ある学校教育活動を行っています。

- 「淡窓いろは歌」（三隈中学校）
…淡窓の思想についての学習
- 「休道の机」（三隈中学校）
…個に応じたきめ細かな学習指導



- 「万善の美」（桂林小学校）
- 「校門一礼・無言清掃」（南部中学校）
…自己の生活の振り返り



- 「休道の詩の朗詠」（咸宜小学校）…淡窓に親しみ、学習に取り組む気持ちづくり
- 「凡事徹底」（東部中学校）
…学習に集中して取り組む環境作り

